計画経行情報	舞鶴	工業高等	専門学校	党 開講年度	夏 平成31年度 (2	2019年度)	授美		物理IA			
日本日				,	,	,	,					
接続計画		CIIII	0105			科目区分	-		 修			
接受計画   投票分割												
お助用				 目								
対土				<b>—</b>								
型数量 東利 国際 できる。		***		划事 物理其磷 物理	曲(粉研虫版)/116				ト物理其礎	(粉研中胎)		
別連目標		.47/3	_		主(奴川山瓜)/・ソート	·Lightノード加達,	, יט – וינ	ignt/ —	下彻垤圣诞			
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##		<del></del>	土木川   門	J								
理想的と到達レベルの目安   根理的と到達レベルの目安   根理のは到達レベルの目安   根理を			<sup>2</sup> 面運動の かの法則を	表し方を理解する。 理解する。	,							
翻接選手・平面運動の速度、加速度 後のスタトルの作配と計算	レーブリ	ノック										
関する				理想的な到達	レベルの目安	標準的な到達レイ	ベルの目	安	未到達レ	未到達レベルの目安		
「大学   一	評価項目1			度、変位のべ								
接名・教育到速度目標(A)学習・教育到速度目標(D)学習・教育到速度目標(I) 教育方法等  理	評価項目2	2							物体に働	く力を理解し	ていない。	
競客方法等	学科の至	]]達目標項	目との	関係								
関連	学習・教育	<b>拿到達度目標</b>	票 (A) 学習	・教育到達度目標	(D) 学習・教育到達原	き目標 (I)						
関連	教育方法	 法等										
		741	良の回	ハの様々か租象や6		ための 物理の其	歴を学ぶ	<b>レノ</b> に	カ学につい	ンプ学型する		
「保育」	受業の進め	め方・方法	・必要 ・実験 【成績 前期	に応じてレポートi を行う際は4人程原 の評価方法・評価i 後期とも2回の定期	<b>果題を出す。</b> 度のグループに分け, ∙ <b>玉準】</b> 引試験を行う。試験(7	'0%) とその他レオ			小テスト等	(30%) から	総合的に£	
担   授業内容   担   担   シラバスの説明,物理量の表し方   1 物体の直線運動,平面運動の表し方を理解する。   2週   変位と速度   1 物体の直線運動,平面運動の表し方を理解する。   1 物体の直線運動,平面運動の表し方を理解する。   4週   相対速度   1 物体の直線運動,平面運動の表し方を理解する。   1 物体の直線運動,平面運動の表し方を理解する。   5週   加速度   1 物体の直線運動,平面運動の表し方を理解する。   1 物体の直線運動,平面運動の表し方を理解する。   7週   落体の運動 (水平投射,斜方投射)   1 物体の直線運動,平面運動の表し方を理解する。   7週   落体の運動 (水平投射,斜方投射)   1 物体の直線運動,平面運動の表し方を理解する。   7週   落体の運動 (水平投射,斜方投射)   1 物体の直線運動,平面運動の表し方を理解する。   10週   力の合成と分解   2 物質に働く力,運動の法則を理解する。   10週   力の合成と分解   2 物質に働く力,運動の法則を理解する。   11週   力のつめい、作用反作用   2 物質に働く力,運動の法則を理解する。   11週   力のつりあい、作用反作用   2 物質に働く力,運動の法則を理解する。   14週   液体や気体から受ける力   2 物質に働く力,運動の法則を理解する。   14週   液体や気体から受ける力   2 物質に働く力,運動の法則を理解する。   15週   演習 (力のつりあい、運動方程式)   2 物質に働く力,運動の法則を理解する。   16週   期末試験   分野   学習内容   学習内容の到達目標   学習内容   学習内容の到達目標   対達レベル   授業週   速度と加速度の概念を説明できる。   10.前5.前5.前5.前5.前5.前5.前5.前5.前5.前5.前5.前5.前5.	注意点		とくに、教員の内線電	なし の連絡先】 E A棟2階(A-2: 話 8917	L0) 드@maizuru-ct.ac.jp제	を付けて下さい						
1週 シラバスの説明、物理量の表し方 1 物体の直線運動、平面運動の表し方を理解する。   2週 変位と速度 1 物体の直線運動、平面運動の表し方を理解する。   3週 速度の合成 1 物体の直線運動、平面運動の表し方を理解する。   4週 相対速度 1 物体の直線運動、平面運動の表し方を理解する。   5週 加速度 1 物体の直線運動、平面運動の表し方を理解する。   5週 加速度 1 物体の直線運動、平面運動の表し方を理解する。   6週	授業計画		1.	T			l					
1stQ   2週 変位と速度   1 物体の直線運動,平面運動の表し方を理解する。   2 物質に働く力,運動の法則を理解する。   2 物質に働く力,運動の法則を理解する。   1 初体の直線運動,平面運動の表し方を理解する。   2 物質に働く力,運動の法則を理解する。   1 1週 力の合成と分解   2 物質に働く力,運動の法則を理解する。   1 1週 力の合成と分解   2 物質に働く力,運動の法則を理解する。   1 1週 力のつりあい。作用反作用   2 物質に働く力,運動の法則を理解する。   1 2週 運動の法則、運動方程式の立て方   2 物質に働く力,運動の法則を理解する。   1 3週 摩擦を受ける運動   2 物質に働く力,運動の法則を理解する。   1 3週 摩擦を受ける運動   2 物質に働く力,運動の法則を理解する。   1 3週 摩擦を受ける運動   2 物質に働く力,運動の法則を理解する。   1 5週 演習(力のつりあい、運動方程式)   2 物質に働く力,運動の法則を理解する。   1 5週 演習 化のつりあい。			1									
1 物体の直線運動, 平面運動の表し方を理解する。					,物理量の表し方		·					
1 特殊の直線運動、平面運動の表し方を理解する。   1 物体の直線運動、平面運動の表し方を理解する。   1 物体の直線運動、平面運動の表し方を理解する。   7週 落体の運動(水平投射、斜方投射)   1 物体の直線運動、平面運動の表し方を理解する。   8週 中間試験   9週 いろいろな力   2 物質に働く力、運動の法則を理解する。   10週 力の合成と分解   11週 力のつりあい、作用反作用   2 物質に働く力、運動の法則を理解する。   11週 力のつりあい、作用反作用   2 物質に働く力、運動の法則を理解する。   12週 運動の法則、運動方程式の立て方   2 物質に働く力、運動の法則を理解する。   13週 摩擦を受ける運動   2 物質に働く力、運動の法則を理解する。   14週 液体や気体から受ける力   2 物質に働く力、運動の法則を理解する。   15週 演習(力のつりあい、運動方程式)   2 物質に働く力、運動の法則を理解する。   16週 期末試験   3 前2,前5 前5前			2週	変位と速度								
1stQ   5週 加速度			3週				1 物体の直線運動, 平面運動の表し方を理解す			解する。		
6週   新いを図画を選手動、落体の運動(自由落下,鉛直投射   1 物体の直線運動、平面運動の表し方を理解する。   7週   落体の運動(水平投射、斜方投射)   1 物体の直線運動、平面運動の表し方を理解する。   8週   中間試験   9週   いろいろなカ   2 物質に働く力、運動の法則を理解する。   10週   力の合成と分解   2 物質に働く力、運動の法則を理解する。   11週   力のつりあい、作用反作用   2 物質に働く力、運動の法則を理解する。   12週   運動の法則、運動方程式の立て方   2 物質に働く力、運動の法則を理解する。   13週   摩擦を受ける運動   2 物質に働く力、運動の法則を理解する。   14週   液体や気体から受ける力   2 物質に働く力、運動の法則を理解する。   15週   演習 (力のつりあい、運動方程式)   2 物質に働く力、運動の法則を理解する。   16週   期末試験   2 物質に働く力、運動の法則を理解する。   16週   期末試験   2 物質に働く力、運動の法則を理解する。   16週   期末試験   分野   学習内容と到達目標   学習内容の到達目標   型達レベル   授業週   連度と加速度の概念を説明できる。   3 前2,前5 前6,前7   17回入を移動する質点の運動を位置ベクトルの変化として扱うこ   3 前6,前7 可の速度、平均の速度、平均の加速度を計算することができる。   102   103   104   105			4週	相対速度		1 物位		体の直線運動,平面運動の表し方を理解する。				
1 初外の恒秋煙動, 千面連動の表じ方を理解する。   7週 落体の運動(水平投射, 斜方投射)   1 物体の直線運動, 平面運動の表し方を理解する。   10週		1stQ	5週	加速度		1 物体の直線運動, 平面運動			かの表し方を理解する。			
8週 中間試験   9週 いろいろな力   2 物質に働く力,運動の法則を理解する。   10週 力の合成と分解   2 物質に働く力,運動の法則を理解する。   11週 力のつりあい,作用反作用   2 物質に働く力,運動の法則を理解する。   12週 運動の法則,運動方程式の立て方   2 物質に働く力,運動の法則を理解する。   13週 摩擦を受ける運動   2 物質に働く力,運動の法則を理解する。   14週 液体や気体から受ける力   2 物質に働く力,運動の法則を理解する。   15週 演習 (力のつりあい,運動方程式)   2 物質に働く力,運動の法則を理解する。   15週 期末試験   2 物質に働く力,運動の法則を理解する。   16週 期末試験   2 物質に働く力,運動の法則を理解する。   2 物質に働く力,運動の法則を理解する。   16週 期末試験   分野 学習内容と到達目標   到達レベル 授業週   速度と加速度の概念を説明できる。   3 前2,前5 前3,前4 等加速度直線運動の公式を用いて、2物体の相対速度、合成速度を求 あることができる。   第加速度直線運動の公式を用いて、物体の座標、時間、速度に関 3 前6,前7 平面内を移動する質点の運動を位置ベクトルの変化として扱うこ   3 前6,前7 平面内を移動する質点の運動を位置ベクトルの変化として扱うこ   3 前6 前6			6週	等加速度直線運	動, 落体の運動(自由	落体の運動(自由落下,鉛直投射 1 物化		体の直線運動,平面運動の表し方を理解する。				
8週 中間試験   9週 いろいろな力   2 物質に働く力,運動の法則を理解する。   10週 力の合成と分解   2 物質に働く力,運動の法則を理解する。   11週 力のつりあい,作用反作用   2 物質に働く力,運動の法則を理解する。   12週 運動の法則、運動方程式の立て方   2 物質に働く力,運動の法則を理解する。   13週 摩擦を受ける運動   2 物質に働く力,運動の法則を理解する。   14週 液体や気体から受ける力   2 物質に働く力,運動の法則を理解する。   15週 演習 (力のつりあい,運動方程式)   2 物質に働く力,運動の法則を理解する。   15週 演習 (力のつりあい,運動方程式)   2 物質に働く力,運動の法則を理解する。   16週 期末試験   学習内容と到達目標   対策   対策   学習内容と到達目標   対策   対策   対策   対策   対策   対策   対策   対			7週	落体の運動(水	————————— 平投射,斜方投射)	1 物体の直線運動, 平面運動			 b,平面運動	 動の表し方を理解する。		
2 物質に働く力, 運動の法則を理解する。   10週 力の合成と分解   2 物質に働く力, 運動の法則を理解する。   11週 力のつりあい, 作用反作用   2 物質に働く力, 運動の法則を理解する。   11週 力のつりあい, 作用反作用   2 物質に働く力, 運動の法則を理解する。   13週 摩擦を受ける運動   2 物質に働く力, 運動の法則を理解する。   14週 液体や気体から受ける力   2 物質に働く力, 運動の法則を理解する。   15週 演習 (力のつりあい, 運動方程式)   2 物質に働く力, 運動の法則を理解する。   15週 演習 (力のつりあい, 運動方程式)   2 物質に働く力, 運動の法則を理解する。   16週 期末試験   学習内容と到達目標	計申						,					
2 物質に働く力, 運動の法則を理解する。   11週 力のつりあい,作用反作用   2 物質に働く力,運動の法則を理解する。   12週 運動の法則,運動方程式の立て方   2 物質に働く力,運動の法則を理解する。   13週 摩擦を受ける運動   2 物質に働く力,運動の法則を理解する。   14週 液体や気体から受ける力   2 物質に働く力,運動の法則を理解する。   15週 演習(カのつりあい,運動方程式)   2 物質に働く力,運動の法則を理解する。   16週 期末試験   2 物質に働く力,運動の法則を理解する。   2 物質に働く力,運動の法則を理解する。   16週 期末試験   2 物質に働く力,運動の法則を理解する。   3 前2,前5 対類   2 が質   2 物質に働く力,運動の法則を理解する。   3 前2,前5 前2,前5 対類   2 が理の必念ことができる。   3 前2,前5 前6,前7 対別速度直線運動の公式を用いて、物体の座標、時間、速度に関する計算ができる。   3 前6,前7 対別速度、平均の加速度を計算することができる。   3 前5 前6 前5 前6 対別できる。   3 前5 前6 対別を対した物体の座標、速度、時間に関する計算ができる。   3 前6 前6 前6 対別を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を	前期											
2ndQ       11週       力のつりあい,作用反作用       2 物質に働く力,運動の法則を理解する。         12週       運動の法則,運動方程式の立て方       2 物質に働く力,運動の法則を理解する。         13週       摩擦を受ける運動       2 物質に働く力,運動の法則を理解する。         15週       演習(力のつりあい,運動方程式)       2 物質に働く力,運動の法則を理解する。         15週       期末試験       2 物質に働く力,運動の法則を理解する。         Eデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標       学習内容と到達目標         分野       学習内容       学習内容の到達目標       到達レベル 授業週         速度と加速度の概念を説明できる。       3 前2,前5         直線および平面運動において、2物体の相対速度、合成速度を求 3 前3,前4       する計算ができる。         等加速度浸煙運動の公式を用いて、物体の座標、時間、速度に関 3 前6,前7       できる・平面内を移動する質点の運動を位置ベクトルの変化として扱うこ 3 前2         平面内を移動する質点の運動を位置ベクトルの変化として扱うこ 3 前5       自由落下、及び鉛直投射した物体の座標、速度、時間に関する計 3 前6         自然科学       かア投射、及び斜方投射した物体の座標、速度、時間に関する計 3 前6				力の合成と分解			1.22.4					
12週   運動の法則,運動方程式の立て方   2 物質に働く力,運動の法則を理解する。   13週   摩擦を受ける運動   2 物質に働く力,運動の法則を理解する。   14週   液体や気体から受ける力   2 物質に働く力,運動の法則を理解する。   15週   演習 (力のつりあい,運動方程式)   2 物質に働く力,運動の法則を理解する。   3 前2,前5												
2 物質に働く力,運動の法則を理解する。   14週 液体や気体から受ける力   2 物質に働く力,運動の法則を理解する。   15週 演習(力のつりあい,運動方程式)   2 物質に働く力,運動の法則を理解する。   16週 期末試験   2 物質に働く力,運動の法則を理解する。   3 前2,前5				<del>-</del>								
14週 液体や気体から受ける力   2 物質に働く力,運動の法則を理解する。   15週 演習(力のつりあい,運動方程式)   2 物質に働く力,運動の法則を理解する。   2 物質に働く力,運動の法則を理解する。   2 物質に働く力,運動の法則を理解する。   2 物質に働く力,運動の法則を理解する。   2 物質に働く力,運動の法則を理解する。   3 原文		2ndQ			,		, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,					
15週 演習(力のつりあい,運動方程式) 2 物質に働く力,運動の法則を理解する。   16週 期末試験   2 物質に働く力,運動の法則を理解する。   16週 期末試験   日本			F		体や気体から受ける力			2 物質に働く力, 運動の法則を理解する。				
16週 期末試験			<u> </u>									
日デルコアカリキュラムの学習内容と到達目標					,		4 加貝に関トル,建期の法則を理解する。					
分野   学習内容   学習内容の到達目標   到達レベル   授業週   速度と加速度の概念を説明できる。   3   前2,前5   直線および平面運動において、2物体の相対速度、合成速度を求   3   前3,前4   あることができる。   等加速度直線運動の公式を用いて、物体の座標、時間、速度に関   3   前6,前7   する計算ができる。   平面内を移動する質点の運動を位置ベクトルの変化として扱うこ   3   前2   上ができる。   平均の速度、平均の加速度を計算することができる。   3   前5   自由落下、及び鉛直投射した物体の座標、速度、時間に関する計   3   前6   水平投射、及び斜方投射した物体の座標、速度、時間に関する計   3   前7				1.1.1.1.2.1.2.1	N+ C E							
速度と加速度の概念を説明できる。		コアカリキ								1		
直線および平面運動において、2物体の相対速度、合成速度を求 3 前3,前4 めることができる。	分類		分野	学習内容								
あることができる。										3	前2,前5	
ま礎的能力   自然科学   物理					めることができる。	めることができる。					前3,前4	
とができる。	基礎的能力	F (	<u>4</u> ₩mπ	مدير ــــــــــــــــــــــــــــــــــــ	する計算ができる。	する計算ができる。					<u> </u>	
自由落下、及び鉛直投射した物体の座標、速度、時間に関する計 3 前6 前6 水平投射、及び斜方投射した物体の座標、速度、時間に関する計 3 前7		ク  日然科学	-  物埋	刀字 		とができる。			3	削と		
算ができる。										3	前5	
					算ができる。	算ができる。					前6	
									に (天) 9 (a) [	3	前7	

	1 1.						
		物体に作用する力を図示することができる。				3	前9
			力の合成と分解をすることができる。				
重力、抗力、張力、圧力について説明できる。					3	前9	
フックの法則を用いて、弾性力の大きさを求めることができる。				できる。	3	前9	
質点にはたらく力のつりあいの問題を解くことができる。				3	前11		
慣性の法則について説明できる。				3	前12		
作用と反作用の関係について、具体例を挙げて説明できる。					3	前12	
運動方程式を用いた計算だ					3	前12,前 13,前14,前 15	
運動の法則について説明できる。				3	前12		
静止摩擦力がはたらいている場合の力のつりあいについて説明で きる。				て説明で	3	前13	
最大摩擦力に関する計算ができる。				3	前13		
動摩擦力に関する計算ができる。					3	前13	
験	 発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合	it it
	0	0	0	30	0	10	0
	0	0	0	30	0		0
	0	0	0	0 0		0	
	0	0	0	0	0	0	
		[ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ] [ ]	カの合成と分解をす 重力、抗力、張力、 フックの法則を用い 質点にはたらく力の 慣性の法則について 作用と反作用の関係 運動方程式を用いた 運動の法則について 静止摩擦力がはたら きる。 最大摩擦力に関する 動摩擦力に関する 動摩擦力に関する 動の の 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	カの合成と分解をすることができる。 重力、抗力、張力、圧力について説明 フックの法則を用いて、弾性力の大き 質点にはたらく力のつりあいの問題を 慣性の法則について説明できる。 作用と反作用の関係について、具体例 運動方程式を用いた計算ができる。 運動の法則について説明できる。 静止摩擦力がはたらいている場合の力きる。 最大摩擦力に関する計算ができる。 動摩擦力に関する計算ができる。 動摩擦力に関する計算ができる。	カの合成と分解をすることができる。 重力、抗力、張力、圧力について説明できる。 フックの法則を用いて、弾性力の大きさを求めることが 質点にはたらく力のつりあいの問題を解くことができる 慣性の法則について説明できる。 作用と反作用の関係について、具体例を挙げて説明でき 運動方程式を用いた計算ができる。  運動の法則について説明できる。 静止摩擦力がはたらいている場合の力のつりあいについきる。 最大摩擦力に関する計算ができる。 動摩擦力に関する計算ができる。  参 発表 相互評価 態度 ポートフォリオ 0 0 0 30 30 0 0 0 0 0 0	カの合成と分解をすることができる。 重力、抗力、張力、圧力について説明できる。 フックの法則を用いて、弾性力の大きさを求めることができる。 質点にはたらく力のつりあいの問題を解くことができる。 慣性の法則について説明できる。 作用と反作用の関係について、具体例を挙げて説明できる。 運動方程式を用いた計算ができる。  運動の法則について説明できる。 静止摩擦力がはたらいている場合の力のつりあいについて説明できる。 最大摩擦力に関する計算ができる。 動摩擦力に関する計算ができる。	カの合成と分解をすることができる。